

令和3年度 事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人いわて連携復興センター

1 はじめに

東日本大震災から11年が経ちました。震災が起因した課題と平時の地域課題の混在・多様化と、コロナウィルス感染拡大の影響もある中、スタッフ一人一人がこれまで以上にやるべきことを考え行動する1年でした。

被災者支援コーディネート事業では、今年度も地域調整員とともに、復興支援を行う団体の伴走支援を行いました。また、地域のNPO支援のするNPO活動交流センター事業では、構成団体ともに、講座等の実施を行いました。

防災の取り組みでは、休眠預金事業を活用した行政・社会福祉協議会・NPO等による地域の三者連携体制の構築や災害時に対応できる担い手を創出する取り組みを行いました。また、東北の支援者とのネットワーク構築も行われた1年でした。

その他、コロナ禍でありながらも、外部講師や会計支援などの要請もいただきました。

以上、この1年間事業を無事推進できたことに対し、関係各位のご指導、ご協力に厚く御礼を申し上げますとともに、実施各事業について事業報告をさせていただきます。

2 実施事業

(1) 「復興支援団体の連携調整」に係る事業

○次のフェーズに向けた岩手県内の体制構築の為の CDN 事業（交付金事業：復興庁）＊実施期間：令和3年4月～令和4年3月

「被災者・被災地の課題解決を図るコーディネート」「岩手県内の支援体制構築・強化」「被災地の現状とノウハウを全国へ発信」の3つを軸に事業を行いました。被災者・被災地の課題解決を図るコーディネートはコロナ禍でありながらも、地域調整員とともに支援団体が持つ課題解決を目指した取り組みを行いました。被災者・被災地の課題解決を図るコーディネートでは、有事に備えた災害支援の体制整備づくりを多セクター間で検討・共通認識・合意を取る等のコーディネートができました。被災地の現状とノウハウを全国へ発信事業では、岩手・宮城・福島連携復興センターが協働でシンポジウムを開催し、被災地の現状やこれらからについて発信を行いました。

○NPO活動交流センター運営事業（委託事業：岩手県）＊実施期間：令和3年4月～令和4年3月

盛岡市のNPO法人いわてNPOフォーラム21と協働で、岩手県が設置する市民活動支援機能であるNPO活動交流センターの運営を行いました。いわて連携復興センターは、県内市町村・中間支援組織のヒアリングや市民活動の促進や市民活動団体の持続的な運営に資するセミナーの開催等を行いました。

○被災者の主体性醸成による地域コミュニティ支援事業（補助事業：復興庁）＊実施期間：令和3年4月～令和3年3月

被災者の心の復興に資する取り組みを行うもので、今年度も岩手大学の船戸義和特任助教とともに、岩手県内外の災害公営住宅の自治会向けのコミュニティ形成支援を行いました。

○JCN 地域コーディネート推進事業（委託事業：東日本大震災支援全国ネットワーク）＊実施期間：令和3年4月～令和4年3月

JCN 岩手担当として、3.11の今がわかる会議（東京・東海・九州）の登壇者調整や現地運営、3.11 ユースダイアログの登壇者調整や現地運営、またこれに係る各種会議等への参加を行いました。

○東日本大震災以降の被災者支援制度の課題の明確化と提案事業（助成事業：認定特定非営利活動法人日本NPOセンター）＊実施期間：令和3年4月～令和3年9月 令和3年11月～令和4年3月
タケダ・いのちとくらし再生プログラムの一環で、災害救助法をはじめとする災害救助・被災者支援の制度変更を目指し、提言内容をまとめた冊子の発行、提言を広めるシンポジウムの開催、制度を考える勉強会の開催等を行いました。

○令和3年度 NPO 等による復興支援事業 県内 NPO 法人と県外企業との交流会（委託事業：岩手県）＊実施期間：令和3年8月～令和4年3月

岩手県内の NPO が持続的な活動を目指し、首都圏とのマッチングを図ることを目的としたオンラインによる交流会を開催しました。交流会は岩手の NP015 団体、そして岩手県内外の企業・行政等から 38 名、27 社の参加をいただきました。

（2）「防災」に係る活動

○岩手県内の支援体制構築と支援者の育成・創出事業（助成事業：全国災害ボランティア支援団体ネットワーク）＊実施期間：令和3年4月～令和4年3月

休眠預金を活用し、岩手県内において県域及び市町村域による行政・NPO・社会福祉協議会の3者連携の確立と、支援現場において専門的な知識をもつ人材育成、そして実際に活動するボランティア組織が増え、自然災害時の支援のモレやムラ、そして支援災害弱者が生まれない地域なることを目指した各種取り組みを行いました。また新型コロナウイルス対応緊急支援助成事業として、オンラインツールを活用した情報共有体制の構築や、情報発信ツールとしていわて NPO 災害支援ネットワークのホームページ作成などを行いました。

○いわて NPO 災害支援ネットワークの事務局運営 ＊実施期間：令和2年4月～令和3年3月

いわて NPO 災害支援ネットワークの一員として、定例会の運営や行政・社協等との調整、事務局の会計等を行いました。定期的に意見交換を行い、顔が見える関係性は、有事の際にとっても大きな意味を持ちます。引き続き新規入会団体を募りながら、新たな団体と顔が見える関係を築くことにより円滑な支援へつなげていきたいと思えます。

（3）「震災アーカイブ」に係る活動

○東日本大震災からの復興に係る取り組みを行う現地 NPO から各種発信（自主事業）

被災地で活動する NPO として、岩手県内外の各種委員会等にて、復興支援のこれまでと今後について発信を行いました。

（4）その他

会計支援・講師派遣など、スタッフの特性を生かした各種事業を行いました。

3 主な会議・行事等開催日程

○通常総会

令和2年6月9日（木）15：30～ いわて連携復興センター会議室＋オンライン 出席者17名

○理事会

第1回 令和3年5月11日（火） いわて連携復興センター会議室＋オンライン 出席者7名

第2回 令和3年6月9日（水） いわて連携復興センター会議室＋オンライン 出席者7名

第3回 令和3年12月24日（金） いわて連携復興センター会議室＋オンライン 出席者7名

第4回 令和4年2月7日（金） いわて連携復興センター会議室＋オンライン 出席者7名

4 運営に関する報告

○会員数（令和4年3月31日現在）

正会員数：21 会員（個人19名 団体2団体） 協力会員2 会員（2 団体）